

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	人間ドック事業	担当課	保健課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	政策	健康な暮らしを守る保健・医療の充実	
	施策	健康づくりの推進	
関連する個別計画等		根拠条例等	健康増進法、韮崎市人間ドック等実施要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	人間ドック：年度末年齢が40～74歳の国保加入者を対象とし、健診では検査できない検査や健診日に何らかの都合により受診できなかった者に対し、助成を行うため。 脳ドック：脳卒中などの異常を早期に発見し、それらの発症や進行を防止するために、特に発生率が高くなる50歳以上の市民を対象に対し、助成を行う。
事業の手段	対象者は、申込期間内に市へ申込み 各指定医療機関を予約し、受診する。 各医療機関は、月締めに より助成額を市へ請求 ⇒ 支払
事業の対象	人間ドック：40～74歳（年度末年齢）の国保加入者（総合健診との重複受診不可） 脳ドック：50歳以上の市民（昨年度助成者対象外）

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	2,990	7,967	9,148
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	2,990	7,967	9,148
B	担当職員数(職員E) (人)	0.64	0.70	0.67
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	4,364	4,681	4,349
D	総事業費(A+C) (千円)	7,354	12,648	13,497
主な事業費用の説明	人間ドックの指定医療機関への委託料等			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 人間ドック事業	受診者数(人)	226	294	345
	2 脳ドック事業	受診者数(人)	7	39	26
	3				
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	希望により指定医療機関で人間ドックが受診できる体制を整えている。			
	2	希望により指定医療機関で脳ドックが受診できる体制を整えている。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	人間ドック事業	受診率 (%)	4.40	5.77	5.74
	2	脳ドック事業	受診率 (%)	0.08	0.44	0.34
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	指定医療機関で人間ドックが受診できる体制を整えているが、受診率が上がっていない。				
	2	指定医療機関で脳ドックが受診できる体制を整えているが、受診率が上がっていない。				
	3					

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 今後も、市民の健康を維持させるとともに健康意識を高めてもらうよう、シニア健康サポーター、愛育会等の協力を得て、地域へ働きかけを行い、受診率の向上を図る。 また、医療機関によっては、早期に申込をしないとキャンセル待ちとなる場合があるので、早めに周知し、早期に受診していただくよう働きかけを行う。 受診率については、対象者数が4月1日現在の国保被保険者数 (暫定値) であり、確定値は、年度途中の資格喪失者等を除く必要があるため、対象者が確定すれば受診率の向上が見込まれる。
過去の改善経過	平成24年度に助成額を増額した。(男性: 10,000円→23,000円、女性: 15,000円→28,000円) 平成25年度に若年層の受診者が少ないことなどから対象年齢を引き上げ、特定健診の対象者と同様の年齢を対象とした。(35~69歳→40~74歳)
課長所見	現行以外でも普及啓発が図られる方策を検討し、受診率の向上に努めていく。